

# 「ユニバーサルカラー」広めたい

学生相談・修学サポートセンター

原口 奈美さん

色彩検定UC級合格



学生相談・修学サポートセンター職員の原口奈美さん＝写真＝がこのほど、色彩検定協会が行う「色彩検定」のUC級（色のユニバーサルデザイン級）に合格し、UCアドバイザーの資格を取得しました。本学では、2020年度から大学教育改革推進プログラム（学長裁量費）により立ち上げたワーキンググループ（WG）が、学内でのカラーユニバーサルデザインの構築を推進しています。WGメンバーの原口さんは「今後の学生支援にも役立てたい」と意気込んでいます。

同検定は、色彩に関する幅広い知識や技能を問うもので、1～3級とUC級の4タイプがあります。原口さんが合格したUC級は、色が見える仕組みに始まり、視覚の多様性や加齢による色覚の変化などを踏まえた配色上の注意点や改善方法など幅広い知識が要求されます。

原口さんは、WGの活動に携わる中で「自身の取り組みに説得力を持たせたい」と一念発起。「持ち前のオタク気質」を逆手に取った学習を続け、6月に受検しました。

「勉強や仕事を通じ、駅の時刻表や掲示板な

ど、あらゆる場面で色の組み合わせを意識するようになった」と原口さん。色の見え方について悩みを持つ人は男性で20人に1人、女性で500人に1人いるといわれます。原口さんによると、本学では色覚の多様性に対応した修学支援を行っていますが、「支援申請に至っていない学生が潜在的にもっといるのでは」とみています。それもあって、UCアドバイザー資格の取得は「今後の学生支援の一助になる」と話していました。

## 7th Allied Health Science Symposium

### コロナ後の高等教育めぐり議論

『7th Allied Health Science Symposium』が8月5日（金）、オンラインで開催されました。

本シンポジウムは2016年に保健科学シンポジウムとして第1回が開催され、本年度で7回目を迎えました。現在の参加校は、フィリピンのセントロエスカラー大学、ファーイースタン大学、タイのコンケン大学、韓国の大邱保健大学、本学の5校です。本年度は“Higher Education Initiatives In The Post COVID 19 Era”のメインテーマを掲げ、セントロエスカラー大学が主催。本学からは4人の教員が演者として参加しました。

Plenary Sessionでは”Trends and Prospects on Course Delivery and Learning Modalities for Health Science Programs”のテーマで、各大学が対応・工夫などについて発表しました。また、Concurrent Sessionsでは医学検査学科、看護学科、リハビリテーション学科の3領域に分かれ、活発な議論が繰り広げられていました。

昨年度に引き続き本年度もオンラインでの開催となりましたが、次回のコンケン大学主催の第8回国際シンポジウムでは現地開催が実現することを期待したいと思います。

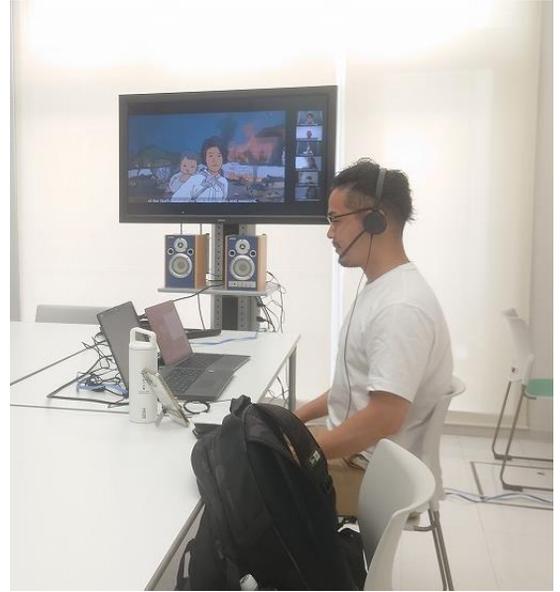
（学術振興課）

## プレゼン、K-POP …アジア各国の学生と交流

韓国・大邱保健大学主催のGlobal Healthcare Leadership Program (GHLP) が8月19日（金）にオンラインで開催され、アジア各国から約30人、本学からは3人の学生が参加しました。

午前中は韓国の観光地のビデオ鑑賞やヘルスケアについての特別講義があり、午後には環境問題をテーマとしたプレゼン大会、K-POPダンスの講義などが行われました。プレゼン大会では事前にSNS等で打ち合わせを行い作成したパワーポイントを用いて、各グループの代表者が発表を行いました。プログラムの最後には授賞式が行われ、本学の学生1人が所属していたグループが2位を獲得することができました。

本プログラムは全て英語で実施されましたが、学生たちはプログラムの合間にも積極的にコミュニケーションを取っており、楽しんでプログラムに参加することが出来たようです。また、これを機に継続して英語を勉強し、来年度、現地開催になった際はぜひ参加したいと語っていました。（学術振興課）



オンラインプログラムに参加した学生

### 高校生と保護者の相談に応じるピアサポーターたち



### 第3回オープンキャンパス

#### 356人参加 沖縄、東京からも

本年度3回目のオープンキャンパスが9月4日（日）、午前・午後の2部構成で開催され、高校生と保護者を含め合計356人（午前222人、午後134人）の参加がありました。

高校では夏休みも終わり新学期が始まっている時期ということもあり、7月や8月ほどの参加はなかったものの、遠くは沖縄や東京からの参加もありました。午前・午後とも学科ごとのオリエンテーションに始まり、趣向を凝らした模擬実習、共通教育ブースや施設見学ツアーなどを実施しました。（安部悠介）

## 学科の魅力 模擬授業で体験

8月29日（月）、31日（水）、熊本西高校アカデミックインターンシップ（NAIS）として1年生約200人（各日100人）が本学を訪れ、アリーナ見学や各学科専攻の模擬授業を体験しました。

午前中、50周年記念館で大学概要について説明を受けた生徒たちは、レストランでの昼食を済ませ、午後からはアリーナにある健康・スポーツ教育研究センターを見学。その後、医学検査学科、看護学科、理学療法学専攻、生活機能療法学専攻、言語聴覚学専攻に分かれ、模擬授業を受講しました。

理学療法学専攻の模擬授業を受けた男子生徒は「リハビリにもいろんな種類があって、メンタルにも関わるリハビリがあることを初めて知り、興味が出た」とコメント。医学検査学科の模擬授業を受けた女子生徒は「初めて医学検査学科のことを聞いて、どんな学科か知らなかったが、先生の経験や体験談を聞いて、学科の大変さや面白さを知ることができてよかった」と話していました。

また言語聴覚学専攻の模擬授業では、一部を熊本西高校出身の本学学生が担当し、後輩に向けて本学の魅力などを語りました。（安部悠介）

熊本西高1年生

◆令和4年度の入試エントリー始まる 9月1日（木）、総合型選抜入試のエントリーが始まりました。9日（金）までのエントリー期間後、書類選考を通過した方を対象に、10月3日（月）からWeb出願を開始します。試験日は、10月22日（土）です。  
（入試・広報課）

## インフォメーション

週間行事予定（9月10日～9月16日）	
9 / 16（金）	熊本サイエンスコンソーシアム（KSC）と熊本保健科学大学との高大連携・高大接続に関する協定調印式及びキックオフイベント 利益相反に関する研修会

### 20日にアフリカ開発会議関連シンポ オンライン 参加フリー

8月にチュニジアで開かれた第8回アフリカ開発会議（TICAD8）の公式サイドイベントとして、「創薬やアフリカ伝承薬活用による健康的かつ、より良い生活を求めて」と題した国際シンポジウムが、9月20日（火）16～18時にオンラインで開催されます。熊本大学、特定非営利活動法人ロシナンテス主催。アフリカの現状に見合う創

薬や伝統薬の利活用などについて、日本とアフリカの有識者がパネルディスカッションを行い、共有した現状の課題の解決に向けたアクションプラン「クマモト提言2022」を発信します。誰でも参加可能です。申し込みは下記リンクから。

<https://ticad8.kumamoto-univ.jp>